

## 高校生国際平和会議PART II を実施しました！

9月15日（金）、「高校生国際平和会議PART II」を高校全学年で実施しました。7月末に行われた「高校生国際平和会議」では代表者によるパネルディスカッションが行われましたが、今回の会議は高校全学年、全クラスの生徒を対象に実施しました。高3の会議運営を担うリーダーたちが企画し、今回実施の運びとなりました。

高校1年生は、「①何を失ったら平和でなくなるのか ②それを失わないために取り組むべきこと/平和な世の中にするためにできること」というテーマに沿って協議しました。失うと平和な世界が損なわれてしまうものを、幅広い観点から考え、付箋に書き、班で共有しました。その後、意見をクラス内で発表し合いました。

高校2年生は、「Too much (1)+Too little (2)=conflicts (訳：過剰な(1)+不足した(2)=対立)、To increase (3)+To decrease (4)=Peace (訳：(3)を増やす+(4)を減らす=平和)」という英文を用いて、何が対立を生むのか、何が平和をもたらすのかを考えて空欄に当てはまる言葉を埋め、意見をまとめました。

高校3年生は、「多様性をどこまで認めるか」というテーマに沿って学習しました。「戸籍上 31歳の男性は自身を 15歳の女性と自認しており、女子サッカークラブに加入することを許可された。それ以降、10代の女性とともに活動し、更衣室やシャワールームも共有している。しかし、公式戦に出場したことはまだない。」という実際の事例において、多様性を認めた場合のメリットとデメリットを各班で話しあい、該当人物の公式戦出場を認めるべきか認めるべきではないかについて、クラス内でディベートを行いました。

内容・進行・企画すべてを実行委員が行い、生徒主体の取組として充実した時間となりました。対話の重要性を改めて認識しました。(高2実行委員 青木日向葵)

【各学年の協議内容の集約】〈高1〉※第27号に続く



組	①何を失ったら平和でなくなるのか(抜粋)	②それを失わないために取り組むべきこと/平和な世の中にするためにできること
1	愛・思考力・選択肢・秩序・青春・当たり前・医療・植物	偏見を持たず差別をしない 戦争の経験を語り継いでいく
2	多様性・夢・理性・福祉の機能・平穏・恋・治安の良さ・幸福	歴史から学ぶこと 隣の人を笑顔にする
3	道徳心・人権・笑顔・資源・自由・推し・良心・食料	世の中のことを知る 相手の立場に立って考える
4	希望・家族・正直な心・動物・健康・資源・挨拶・言葉	良好な人間関係を築く 自分の好きなことをする
5	食料・自然・教育・大事な人・笑顔・思いやり・趣味・理性	環境にやさしくする コミュニケーションを積極的にとる
6	優しさ・思いやり・多様性・秩序・個性・当たり前・十人十色・資源	自分から笑顔を発信する 普段から素直に相手を褒める
7	人と人の繋がり・親孝行・食料・多様性・協調性・幸せ・友人	簡単に水を使える(飲める)装置作り 日々のありがたみを感じる



【各学年の協議内容の集約】

〈高2〉「Too much (1)+Too little (2)=conflicts (訳：過剰な(1)+不足した(2)=対立)、  
To increase (3)+To decrease (4)=Peace (訳：(3)を増やす+(4)を減らす=平和)」

1組

Too much (憎しみ・嫌悪・嫉妬)+Too little (尊敬・協力)=Conflicts  
To increase (笑顔・優しさ・理解)+To decrease (偏見・差別)=Peace

2組

Too much (prejudice)+Too little (respect)=Conflicts  
To increase (smile)+To decrease (tear)=Peace

5組

Too much (消費)+Too little (生産)=Conflicts  
To increase (笑顔)+To decrease (核兵器)=Peace

6組

Too much (information)+Too little (information literacy)=Conflicts  
To increase (understanding)+To decrease (discrimination)=Peace

7組

Too much (individual ideas)+Too little (knowledge)=Conflicts  
To increase (平等でかつ他者を理解しあうことの大切さを伝える教育)+To decrease (利己心)=Peace  
※高校2年3組、4組は学級閉鎖のため実施していません。

〈3年生〉「戸籍上31歳の男性は自身を15歳の女性と自認しており、女子サッカークラブに加入することを許可された。それ以降、10代の女性とともに活動し、更衣室やシャワールームも共有している。しかし、公式戦に出場したことはまだない。この人物の公式戦出場を認めるか。」

認める	認めない
20チーム中4チーム	20チーム中16チーム
〈理由・意見〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>その男性の気持ちに寄り添うべき</li> <li>個人の意思を尊重するべき</li> <li>チームとして周りの人が認めているならいい</li> <li>更衣室、シャワーは時間をずらせばよい</li> <li>加入は良いが共有は良くない</li> <li>チーム力(戦力+戦術)の向上</li> <li>外国人選手が加入するのと同じ</li> <li>手術を受ければ女性となって何も問題はない</li> <li>トランスジェンダーに関する悩みを持つ人の前例になる</li> </ul>	〈理由・意見〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>性自認を偽っている可能性がある</li> <li>生物学的性格と心理学的性格は分けて考えるべき</li> <li>体格差、体力差がある</li> <li>チームメイト以外の周りの人(他のチームの選手など)が不快に思う可能性がある</li> <li>周りの幸せはどうなるのか</li> <li>わざわざ女子サッカーチームに入る必要はあるか</li> <li>手術を受けても年齢の問題がある</li> <li>犯罪行為を助長する可能性がある</li> </ul>